

世界初となる未来のシワを 予測する数理モデルを開発

将来のシワレベルをデータで予測、年齢や肌に合わせたシワ予防へ

コーセーは、大学共同利用機関法人情報システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センターの野間久史准教授との共同研究により、年齢と肌状態から将来のシワ状態を予測する世界初となる数理モデルを開発した。

今回の研究では、コーセー後、美容カウンセリングやセルフ診断などに応用する事で、納得度の高いシワ予防のサービスや、最新のデータサイエンス技術を駆使して予測モデルを構築、一人ひとりの現在の状態から、将来のシワの進行リスクを数値で可視化・評価する技術を開発した。

これにより、個人特性に基づいた、将来のシワリスク低減につながる美容提案が可能になる。今

手した。医学研究で用いられる最先端のデータサイエンスを駆使することで、個人差による影響を調整し、正確に加齢変化を反映できる説明性の高いシワ予測モデルの開発に成功した。

将来のシワは年齢、肌の明るさ、肌の赤み、皮脂量で予測可能に

シワ予測モデルの開発を行った。

技術を開発した。

今回の研究では、22歳から60歳のコーセー研究所に所属する日本人女性48名を対象に、7年間にわたり毎年取得した肌データ（目尻のシワの目視色の黄み）を用いて

初期検討において、シワレベルと年齢の間に強い相関関係と大きな個人差が認められたことから、この関連を複合的に分析したところ、最終的にシワレベルから、一人ひとりの将来のシワレベルを高い精度で予測することが可能となる。また、同モデルから、皮脂量が多い人や肌が明るい人は、将来シワが早く進行する可能性が高いことなどが示唆されており、こうした知見も適切な美容提案を行う際の有益な手掛かりとなる。

今回の研究により、多くの人の肌悩みの一つであるシワを、一人ひとりの年齢と肌状態から定量的に予測することが可能になったことから、同社では長年の蓄積データや解析技術を積極的に活用し、エビデンスに基づいて、未解決の顧客のニーズや悩みに応えられる新しい解決策の提供を加速していく。

ヒト脂肪間質細胞エクソソーム配合美容液

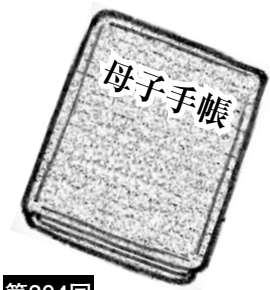
北海道ナチュラルバイオグループは昨秋、「ヒト脂肪間質細胞エクソソーム」配合の導入美容液「ルジュフェイスアップセラム」を発売した。配合原料の新規性と効果実感の高さから好調な売上を

記録している。今年1月には新たに水溶性ビタミンC誘導体「VCエチル」(3-0-エチルアスコルビン酸)を配合した改良品を発売し、効果実感のさらなる向上を図っている。非分解アラセyntaの

すると、「ヒト脂肪間質細胞エクソソーム」の新規性に注目が集まり好調に推移した。また、エステサロンではホームケア製品としての販売に加え、製品を使用した施術を実施するなど、効果を実感しやすい取り組みを進め、今後も商品の拡販が進んでいるという。

「VCエチル」は、従来品に配合していた「APPS」の3倍のビタミンCを含有している。また、酸素に分解されず素早く浸透し、効果が持続することから、APPS単独とは異なる効果が期待できるとい

母子手帳



第304回

「ルジュ フェイスアップセラム」
北海道ナチュラルバイオグループ

同原料は、細胞のダメージ部分へ自ら働きかける性能が確認され、肌にハリを与えるなど、様々な効果が期待できるという。



「ルジュ フェイスアップセラム」
FACE UP SERUM

「ルジュ フェイスアップセラム」
FACE UP SERUM

「ルジュ フェイスアップセラム」
FACE UP SERUM

